

Creativity Explored

PRIVATE

のっぽブリークならもう知ってますよね！CREATIVITY EXPLORED OF SAN FRANCISCO (以後C・E)。お店にディスプレイされている、芸術が爆発しているアートなTシャツたちをデザインしている場所です。1983年にカリフォルニア州サンフランシスコに設立された施設で今年でちょうど20周年。身体に様々な障害をもっている人々がアートを通して様々な表現をしているところなんです。

なぜ？すばらしいアートが出来るのか非常に不思議に思ったので、今回はこのC・Eを調べてみました。英語のホームページをみて和訳しながらの調査なので不完全な言葉などがあるかもしれませんが、多めにみてください。

C・Eとは

先にも触れましたが、1983年にサンフランシスコで設立された非営利的な団体です。ここには20歳〜82歳の100人以上の障害をもったアーティストが所属しています。彼らは多種多様な経験・能力および感性をもっています。アーティストたちは版画、ペイ

ント、彫刻、セラミック、布アート、建築など、さまざまな表現方法を勉強できることができますし、その中から個々のニーズにあつたものを選択できるようなっています。12人のティーチングスタッフと6人のプログラマサポートスタッフによって創造性が育まれ、有名な芸術家を多数輩出しています。ギャラリーワークショップなどの売上は、月間売上の最初の50ドルまでは、全て所属するアーティストに支給され、それ以上の売上はC・Eとアーティストの間で50%づつにわけられます。ということ、C・Eの作品を手にするということは、自動的にアーティストの自立、またその芸術性を育むチャンスを提供していることになるのです。



C・Eの理念

- 1 正しい環境を与えられれば、すべての人々は創造性を発揮できる。
- 2 創造することは人間が成長することのきっかけとなる。
- 3 身体的障害は私達を二分する境界線ではない。
- 4 視覚的な芸術は誰にとっても言葉となりうる。

とにかく障害は壁にはならないということなんです。アーティストの中には、話が出来ない方もいます。言語も様々ですので言葉によるコミュニケーションは難しいのですが、ビジュアルアートという共通の言語により、お互いにコミュニケーションをとっています。

障害をもっているということで、閉じた世界に閉じこもりがちですが、ここには違います。C・Eスタジオ内だけではなく、アーティストは美術館、ギャラリー、

編集後記



のっぽPLUSにも「はまゆう製作所」で作った革製品などを販売しています。前に新聞で一度紹介しましたが、ここでも障害をもった仲間が様々なものを作っています。

障害をもった方を特別な目で見る人もいます。やさしさをはき違えてしまう人もいます。でも同じ「仲間」なので、障害をもった方でも、もってない方でも、みんな笑顔でいられるように、協力していききたいです。そして、だれもが住みやすい街にしていきたいですね。

アーティストなどを訪問して、多岐にわたり様々なアーティストと協力してコラボレートしています。